

【！県内の病害虫に関する情報を配信中！】

鳥取県病害虫防除所 HP にて病害虫予察情報を随時更新しています。  
各種情報は右記 QR コードからご覧いただけます。



## 令和 7 年度病害虫発生予報第 1 0 号

令和 7 年 1 2 月 3 日  
鳥取県病害虫防除所

### 予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	発生時期	予想発生量
野菜	ラッキョウ	白色疫病	平 年 並	平 年 並
	イチゴ	うどんこ病	平 年 並	平 年 並
		灰色かび病	平 年 並	平 年 並

### 気象予報（抜粋）

1 か月予報（1 1 月 2 9 日～1 2 月 2 8 日：1 1 月 2 7 日、広島地方気象台発表）  
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

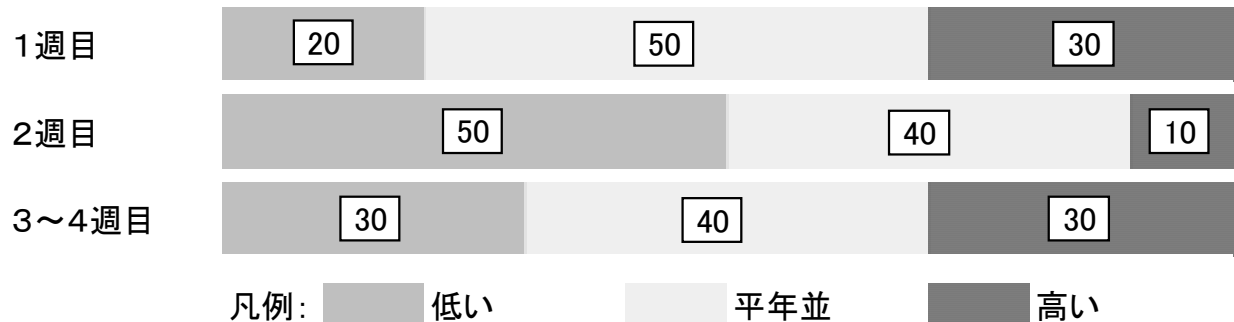
平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。

平均気温は、平年並または低い確率ともに 4 0 % です。

### ＜向こう1か月の気温、降水量の各階級の確率（%）＞



### ＜気温経過の各階級の確率（%）＞





## 野 菜

### [ラッキョウ]

#### 1 白色疫病

##### (1) 予報の内容

発生時期 平 年 並

発生量 平 年 並

##### (2) 予報の根拠

ア 1 1 月下旬現在、現地調査ほ場において、本病の発生は認められていない。

イ 本病は、晩秋から初春の連続降雨や積雪により発病が多くなる。

ウ 向こう 1 か月及び 3 か月の気象予報から、発生時期、発生量ともに平年並と予想される。

##### (3) 防除上注意すべき事項

ア 本病の発生を防ぐため、年内の防除を徹底する。

イ 1 2 月には、フォリオゴールド 1， 0 0 0 倍液、ランマンフロアブル 2， 0 0 0 倍液等を散布する。

ウ 1 ～ 2 月の連続降雨後及び雪解け時に、フォリオゴールド 1， 0 0 0 倍液、ホライズンドライフロアブル 1， 0 0 0 倍液等を追加散布する。

エ 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一成分の薬剤の連用は避ける。

### [イチゴ]

#### 1 うどんこ病

##### (1) 予報の内容

発生時期 平 年 並

発生量 平 年 並

##### (2) 予報の根拠

ア 1 1 月下旬現在、現地調査ほ場において、本病の発生は認められていない。

イ 向こう 1 か月の気象予報から、発生時期、発生量ともに平年並と予想される。

##### (3) 防除上注意すべき事項

ア 多発後の防除は難しいため、予防防除に重点を置く。薬剤は、表 1 を参考に使用する。

イ 既に本ほ場で発生している場合は、薬剤を 3 ～ 5 日間隔でローテーション散布する。その後、病勢が抑制されれば、7 ～ 1 0 日間隔の薬剤散布に戻す。

ウ Q o I 剤（アミスター 2 0 フロアブル等）は、機能性展着剤と混用すると薬害が発生しやすいので、これらの展着剤は加用しない。

エ 硫黄粒剤のくん煙処理は、発病後の効果は低いため、発病前からの予防的な処理を行う。

オ 薬剤散布は、薬液が葉裏や芽の間にもよくかかるように丁寧に行う。

カ 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一薬剤及び同系統の薬剤の連用は避ける。



表 1 イチゴうどんこ病の本ぼにおける主な防除薬剤

農薬系統分類	FRACコード	薬 剤 名	希釈倍数・使用量	使用回数	収穫前 日数
無機硫黄	M02	硫黄粒剤	6～16 g /2000m <sup>3</sup>	—	—
		イオフロアブル	2,000倍	—	—
有機銅	M01	サンヨール	500～1,000倍	6	前日
アニリノピリミジン	9	フルビ <sup>®</sup> カフロアブル	2,000～3,000倍	3	前日
		フルビ <sup>®</sup> かくん煙剤	50g/500m <sup>3</sup>		前日
チアゾリジン・ アニリノピリミジン	U13・9	ショウチノスケフロアブル	2,000倍	2	前日
グアジシン	M07	ベルコート水和剤	4,000倍	5	前日
		ベルコートフロアブル	2,000～4,000倍		前日
グアジシン・ ヒドロキシアニリト <sup>®</sup>	M07・17	ダイヤモンド	2,000倍	3	前日
グアジシン・ ベンゾイルピリミジン	M07・50	ラミック顆粒水和剤	1,000倍	2	前日
ベンゾイルピリミジン	50	プロハ <sup>®</sup> ティフロアブル	3,000～4,000倍	3	前日
SDHI	7	アフェットフロアブル	2,000倍	3	前日
QoI	11	アミスター20フロアブル	1,500～2,000倍	3	前日
		ストロビー <sup>®</sup> フロアブル	3,000～5,000倍	3	前日
QoI・SDHI	11・7	シグナムWDG	2,000倍	2	前日
DMI	3	ラー水和剤	4,000～8,000倍	3	前日
		ルビ <sup>®</sup> ゲン水和剤	4,000倍	3	前日
		トリフミン水和剤	3,000～5,000倍	5	前日
		トリフミン <sup>®</sup> ジェット	50 g /400m <sup>3</sup>		前日
		スコア顆粒水和剤	2,000倍	3	前日
DMI・ オキシムエーテル	3・U06	ハ <sup>®</sup> ンチョTF顆粒水和剤	2,000倍	2	前日
		ハ <sup>®</sup> ンチョTF <sup>®</sup> ジェット	50g/400m <sup>3</sup>		前日
キノキサリン	M10	モレスタン水和剤	3,000～4,000倍	2	前日
脂肪酸グリセリド <sup>®</sup>	—	サンクリスタル乳剤	300～600倍	—	前日
無機化合物	NC・M01	ジーファイン水和剤	750～1,000倍	—	前日
無機化合物	NC	カリグリーン	800～1,000倍	—	前日
	NC	ハーモイト水溶剤	800～1,000倍	—	前日

## 2 灰色かび病

### (1) 予報の内容

発生時期 平 年 並  
発生量 平 年 並



(2) 予報の根拠

- ア 11月下旬現在、現地調査ほ場において発生は認められていない。  
イ 向こう1か月の気象予報から、発生時期、発生量ともに平年並と予想される。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 枯れた下葉や病果は早めに除去する。  
イ ハウス内が20℃前後で多湿になると多発しやすいので、随時、通風換気を行い、必要以上のかん水は避ける。  
ウ 使用する薬剤は、表2を参考に7～10日間隔でローテーション散布する。  
エ 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一薬剤及び同系統の薬剤の連用は避ける。

表2 イチゴ灰色かび病の本ぼにおける主な防除薬剤

農薬系統分類	FRACコード	薬 剤 名	希釈倍数・使用量	使用回数	収穫前日数
有機銅	M01	サンヨール	500倍	6	前日
アニリノピリミジン	9	フルビ°カフロアブル	2,000～3,000倍	3	前日
		フルビ°カくん煙剤	50g/500m <sup>3</sup>		前日
ジ°カルボキシイミト°	2	ロブ°ラール水和剤	1,500倍	4	前日
		ロブ°ラール500アクア	1,000～1,500倍		前日
		ロブ°ラールくん煙剤	100g/300～400m <sup>3</sup>		前日
		スミレックス水和剤	2,000倍	3	前日
		スミレックスくん煙顆粒	6g/100m <sup>3</sup>		前日
QoI・SDHI	11・7	シグ°ナムWDG	1,500～2,000倍	2	前日
S D H I	7	カンタスト°ライフロアブル	1,000～1,500倍	3	前日
		アフエットフロアブル	2,000倍	3	前日
Q o I	11	アミスター20フロアブル	1,500倍	3	前日
		ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000倍	3	前日
フェニルピ°ロール	12	セイビ°ア°フロアブル20	1,000～1,500倍	3	前日
フェニルピ°ロール・ ヒト°ロキシアニト°	12・17	ジ°ヤストミート顆粒水和剤	2,000～3,000倍	3	前日
グ°アニジン	M07	ベルクートフロアブル	2,000倍	5	前日
グ°アニジン・ ヒト°ロキシアニト°	M07・17	タ°イマジジン	2,000倍	3	前日

【！県内の病害虫に関する情報を配信中！】

鳥取県病害虫防除所 HP にて病害虫予察情報を随時更新しています。  
各種情報は右記 QR コードからご覧いただけます。



## [おしらせ]

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに、  
周辺への飛散には十分注意しましょう。

農薬の詳しい登録内容は、農林水産省の「農薬登録情報提供システム」から検索  
できます (<https://pesticide.maff.go.jp/>)。

なお、農薬の使用や防除指導などに際しては、農薬のラベルを必ず御確認ください。

## <鳥取県病害虫防除所ホームページ>

アドレス <https://www.pref.tottori.lg.jp/boujosyo/>



病害虫発生予察情報、フェロモントラップ調査結果（ナシのシンクイムシ類など）、病  
害虫の診断方法などの参考情報をお知らせしていますので、御利用ください。

## <お問い合わせ>

普通作物関係

〒680-1142 鳥取市橋本 260

鳥取県病害虫防除所

（電話：0857-53-1345、電子メール：byogaichu@pref.tottori.lg.jp）

もしくは

鳥取県農業試験場環境研究室

（電話：0857-53-0721、ファクシミリ：0857-53-0723）

果樹・野菜関係

〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿 2048

鳥取県園芸試験場環境研究室

（電話：0858-37-4211、ファクシミリ：0858-37-4822）

※次回、予報第11号の発表は令和8年3月4日（水）の予定です。

「農作業事故は自分ごと〜「安全装置」と「安全確認」で“もしも”に備え  
ましょう」

「農作業中の熱中症に注意しましょう」

「野焼きの延焼による山林火災に注意しましょう」

「盗難を防ぐため農機具の保管管理をしっかりと行いましょう」

鳥取県農林水産部経営支援課ホームページ、農業機械・農作業安全

<https://www.pref.tottori.lg.jp/119790.htm>



## <連絡先>

〒680-8570 鳥取市東町 1-220

鳥取県農林水産部農業振興局経営支援課農業普及推進室

（電話：0857-26-7327、ファクシミリ：0857-26-7294）